

平成27年度 府立亀岡高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）計画段階

学校経営方針	昨年度の成果と課題	本年度学校経営の重点
<p>生徒一人一人が個性や能力を伸長させ、自立的に社会に参画し、人権尊重を基盤として、共に支え合いながら、地域社会の一員としての役割を果たすことが求められています。</p> <p>このため、教育目標や教育方針に基づき、数理科学科・普通科・芸術系が、それぞれの特色や持ち味を生かしながら、切磋琢磨し、学校の活性化を図ります。</p> <p>特に、次の3点を学校経営の基本方針とします。</p> <p>(1) 質の高い学習指導と確かな進路実現の具現化 (2) 社会的自立を図るために必要な能力の育成 (3) 地域・保護者に信頼される学校づくり</p>	<p>スクールマネジメント</p> <p>昨年度の成果(○)と課題(△)</p> <p>○授業内容の質的改善・充実 授業改善が進み、生徒の授業満足度が向上 家庭学習時間は増加しているが、改善が必要</p> <p>△国公立50人以上の合格 国公立は33名。関東方面への進学者が増加するなど、チャレンジする生徒は増加</p> <p>○グローバルサイエンス事業を通じて大学と連携した取組が充実 京都大学・京都工芸繊維大学・京都学園大学との連携した授業の充実</p> <p>○芸術系の取組の充実 伝統文化フェスティバルへの出品、小学校との連携など特色ある取組が充実</p> <p>○「社会に通じる人」を育てる あいさつ・遅刻・身だしなみなど規範意識の向上</p>	<p>(1) 授業内容の質的改善・充実 生徒が主体的に学び学習意欲を高める授業の創造</p> <p>(2) 高い目標へとチャレンジする生徒育成(国公立50人プロジェクト) プロジェクトを実現するための組織的・系統的な進路指導の充実</p> <p>(3) 規範意識の向上と社会性の確立 遅刻・服装等に対する校門登校指導の徹底と継続指導の充実</p> <p>(4) 部活動の活性化とあいさつ運動</p> <p>(5) 人権教育活動の推進(あらゆる教育活動に人権の視点)</p> <p>(6) 広報活動の徹底(本校の教育内容の周知と理解) 特にホームページ・メール配信の迅速化と内容の充実</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
組織・運営	魅力ある学校づくりの取組	学校改革の推進		
		国公立大学50人プロジェクトの推進		
		普通科における特色ある取組の充実		
		数理科学科の充実		
		広報活動・学校説明会の充実		
教育課程・学習指導	確かな学力を育てる教育	高大連携の推進		
		生徒の希望進路を実現する教育課程の検討		
		学習意欲を高める授業の創造(授業評価の向上)		
		家庭学習等主体的な学びを促す指導の充実		
進路指導・キャリア教育	チャレンジする生徒の育成	読書活動の推進(図書館活用の促進)		
		組織的・計画的な進路指導の充実		
生徒指導・人権教育	豊かな人間性をはぐくむ教育	CAN-DOリストの実施と活用の工夫		
		基本的な生活習慣の確立		
		確かな倫理観に基づく規範意識の確立		
		特別活動・部活動の活性化		
		情報モラルに関する指導の充実		
		いじめを許さない学校づくり		
教育的配慮を必要とする生徒への対応の充実				
環境整備	安心・安全・健康的な環境	美化意識の向上と清掃の徹底		
		健康・安全意識の向上		

研究指定等 府立高校特色化事業(サイエンスネットワーク京都)

学校関係者
評価委員会
による評価

次年度に向け
た改善の
方向性